

別紙 1

農林水産業・食品産業の作業安全推進シンポジウムアンケート回答

設問4 本シンポジウムに関するご感想・ご意見を自由に記入して下さい。(自由記述)

1	web開催で事前に資料が配布されない場合は、パソコンの画面のみからの情報となるのでパワーポイントのスライド時の画質を改善してほしい。
2	シンポジウムの狙いをはっきりさせて、それに沿った内容、聴衆にしたほうが、効果が上がると思います。
3	シンポジウム開催の効果、反響を後日、調べてもらいたい。
4	できれば、PDFでの資料が、欲しいです。
5	とても参考になりました。ありがとうございました。
6	とても分かりやすく、勉強になりました。
7	安全教育を進める組織が不足しているのではないかと常々、思っています。
8	安全講習は何度も開催したほうがよいと思う。作業者は、わかっても怪我をすることがあり「慣れ」るのが一番危ないと第三者から見たら感じるが多いため。 浮力合羽、についてはもう少し詳細が知りたかった。 ため池調査、や環境調査などで活用できたらいいと思っている。
9	遠方からでも有効なお話を伺うことができ参考となる内容が多かった。
10	各機関の皆様の安全安心な事業に取り組む様子を、学ばせて頂きました。 ありがとうございます。 日々の農業に取り入れ、事故や怪我のない農業経営に努めて参りたいと思います。
11	各分野の取り組みがわかり参考になりました。
12	業種の枠を超えての安全委に対する考え方とそれぞれの課題がわかり、今後の方策に反映させたい。
13	建設業と比較して農林水産業がいかに安全対策が遅れていることを感じました。安全第一を如何に実現するか、これから真価が問われます。対策の支援をお願いします。
14	建設業のノウハウを林業に取り入れる話は勉強になりました。取り組みが進んでいる産業を見習うことは重要だと思います。
15	現在、当方では、農業分野の労働災害防止に係る体系的な取組を実施する準備をしております。その構想案はすでにあるのですが、今回のシンポジウムで、その考え方が間違っていないことに確信を持ちました。ありがとうございます。
16	現場の方々の取組状況や意見は大変参考になる。
17	個別にお呼びすることが難しい講師先生方のお話を、こういった場でうかがうことができ、有用な機会でした。 明後日も聞きます。
18	最も 深い突っ込んだ内容で考えていた。今日の資料を 提示ください。
19	新たな良い取り組み。事例は参考になった。今後も期待しています。
20	世界と渡り合える産業として日本の食品加工等技術レベルを上げていきたい
21	他業種であっても安全への意識、取り組みは同様であると感じます。Zoom開催で誰でも参加できる素晴らしい方法だとも思います、今後も継続して欲しいと思います。

22	<p>他業種の作業安全に初めて接する機会となりました。狭まっていた視野を広げて、考えてみたいと思います。</p> <p>今後もこのような機会があれば参加したいです。ありがとうございました。</p>
23	<p>多様分野が一堂に会することで横断的にそれぞれの課題や作業安全への取り組みが理解できた。特に建設業などの農業以外の分野との連携も重要であると感じた。</p> <p>今後の農作業安全に対する示唆もあり、有益なシンポジウムであったと考える。</p>
24	<p>第1次産業の安全の意義を再認識する事ができました。</p>
25	<p>長瀬社長の講演の中で「建設業は請負だから安全対策がしっかりとれる」という意見に対し、林業は予算面についても考えていかなければならないと感じた。</p>
26	<p>長瀬土建の社長さんの安全に対するお考えがしっかりしていて、こういう経営者が増えることが大事だと感じた。</p>
27	<p>農・林・水産業各々の視点に立った安全推進対策の提言、とても参考になりました。特に吾妻森林組合吉田常勤理事のお話（安全対策コストとその効果、生産性のコメント）は、昭和30年代～40年代の第二次産業で良く語られた話でもあり、改めて個人経営を主とする農業の安全対策推進における難しさを考えさせられました。</p>
28	<p>農業については、家族経営の個人事業主に対する安全意識向上も大切で、刈払い機等は事業主の作別教育受講の義務が無く、安全作業の基本を知らずに作業を行う等の事例が多くあるのではと思いますが、如何でしょうか？</p>
29	<p>農業以外の業種での取り組みも聞いて参考になりました。</p> <p>少し、発表者の方達が、時間の中で早口でギリギリお話されていたので。</p> <p>時間配分に考慮の余地がある気がしました。</p>
30	<p>聞き取りづらい場面があり、話される方どなたの音声もある程度一定の大きさと聞こえるとより良いと思いました。</p>
31	<p>本日は、視聴させていただきありがとうございました。</p> <p>発表のあった取組の資料はいただけないでしょうか？</p>
32	<p>本日はありがとうございました。</p> <p>機械メーカー、作業員（若手、高齢、女性）などからも話が聞きたいと思いました。</p>

別紙 2

令和3年春の農作業安全確認運動推進会議アンケート回答

設問4 本会議に関するご感想・ご意見を自由に記入して下さい。(自由記述)

1	<p>○作業安全のための規範について</p> <p>チェックシート項目は、1回だけチェックして終わりにしない（P D C Aサイクルを回す）ような仕組みがあるとよいと思います。</p> <p>例えば、ハード事業のクロスコンプライアンスでは、計画承認申請等の際にチェックシートを提出して終わりにするのではなく、目標年までの実施状況報告時にも提出させるような仕組みはいかがでしょうか？</p> <p>○農作業安全指導員について</p> <p>指導員は1度講習を受ければ、その資格は未来永劫有効なののでしょうか？もしくは、毎年講習を受けて資格を更新する必要があるのでしょうか？</p> <p>また、県職員である普及指導員は人事異動があり、R3年度に講習を受けて指導員になっても、R4年度には普及業務から離れてしまう場合があります。</p> <p>クロスコンプライアンスで指導員による研修会の受講を位置づける場合は、新任の普及員を指導員に養成する時間も考慮していただき、制度設計をご検討くださいますようお願いいたします。</p>
2	<p>①令和元年に発生した農作業死亡事故の概要をPDFで拝見いたしました。その中で（参考1）道府県別農作業事故死亡者数において、注2では「事故者数が0～3人の道府県は“-”で示している」とのことですが、なぜそのようにされているのでしょうか？自分の県の実態が把握できないので、そのまま実数を掲載してほしいです。</p> <p>②あと東京都の数値も入れられようように努力してください。真の全国数値ではありませんので…</p>
3	<p>Q&A機能に関する取扱いが昨日と違ったので、最初は戸惑いました。</p> <p>また、全体的に早口のトークでしたので、画面についていくことが一部でできませんでした。</p>

4	<p>いつも大変お世話になっております。**県**市の株式会社***の**でございます。</p> <p>ちょうど現在、農作業の安全管理について社内で議論しており、農業実施者と雇用管理者の間で安全性と作業性とコストについて話し合いをしております。会社ですので、従業員の安全が第一という前提の下、従来の安全管理ではいけないと全員感じております。</p> <p>まずは出来ることをやろうと思い、機械操作時のヘルメット着用、機械操作・整備のマニュアルの作成、安全のための作業基準を整えております。</p> <p>ソフト面の対策を進めている中で、ハード面（機械そのものの安全対策、安全バー、シートベルト等）が既存から対策するための費用が掛かり、上手く進められておりません。</p> <p>ソフト面でのさらなる対策（MAFFアプリの導入など）については大変参考になりました。</p> <p>ハード面の対策についてより深化した取り組みがありますと大変助かります。</p> <p>安全対策としての第一は作業員自体の意識改善だと思います。その後、安全を心がける作業員が安全に作業できる環境を整備できる取組がございましたら、ご教示いただけると幸いです。</p> <p>今回は大変ありがとうございました。</p> <p>今後とも宜しくお願い致します。</p>
5	<p>オンラインで参加することができ、参考になりました。</p> <p>今後もこのような形で行われ、多くの方が発表を視聴できるようにされるのがよいと思いました。</p>
6	<p>オンライン参加で本会議を継続して実施してほしい。</p>
7	<p>クロスコンプライアンスについて、わかりやすい資料をHPに掲載してほしい</p>
8	<p>ステッカーの貼付け活動を行っておりますが、農業者からは機械への貼付けは粘着度弱くすぐはがれるというご意見を頂戴しております。今後対応を検討頂ければ有難いです。</p>
9	<p>それぞれの議題がとてもわかりやく説明いただき、大変参考になりました。</p> <p>補助事業の要件化についても知ることができたので参加してよかったです。</p>
10	<p>パソコンのスピーカーの音量を最大迄あげましたが、声が小さくて、聞き取りにくかったです</p>
11	<p>今の情報が得られて良かったです。</p>
12	<p>昨日の作業安全シンポジウムにて、建設業界では建機がシートベルト未装着だと動かない仕様になっていると報告があった。そうしたオペレータの注意に頼らない思い切った取り組みも必要なのではないか。</p>
13	<p>昨日も参加させていただきましたが、使用資料がなく、質問にもありましたが所在もわからないままでした。</p> <p>今後、送付？公開されるのでしょうか。</p>
14	<p>資料のダウンロードができるとよかったです。</p>
15	<p>政策の全体像がつかめる資料があると、ありがたいです。</p>
16	<p>生産局が農作業安全に対して本気なことがよく感じられた一方、農機メーカーはまだ及び腰のような気がしました。</p>
17	<p>****(株)**です。</p> <p>弊社は長年「熱中症声掛けプロジェクト」に参加して参りました。</p> <p>ただ農林水産業に従事する方への、熱中症の発信がまだまだ不足してたと感じました。</p> <p>有意義な機会をありがとうございました。</p> <p>今後とも、宜しくお願いいたします。</p>

18	定期的にwebで安全推進会議を実施していただけると良いかと思いました。本日はありがとうございました。
19	特に 北海道からの取り組み事例等、自分のところでも 活用させていただきたく思います。ありがとうございました。
20	農業機械を公道で走行する前に、片ブレーキになっていないことが一目で解る工夫がしてあると良いと思います。
21	農作業安全への様々な取り組みを知ることができ、とても参考になりました。 開催いただきありがとうございました
22	農水省、地域の機関、各メーカーの最新の安全啓発への取組みがよく把握できた。
23	農政局からの案内で参加した農業団体の職員ですが、紙の資料がなく少し不便でした。
24	北海道協議会の報告が非常内容があり、取組の参考となった。ただ、これだけ取組をしているにもかかわらず、何故事故が減らないのか、何が足りないのか、疑問が発生した。 様々な立場の方が参加する情報交換は、大変有意義と思います。

林業・木材産業 作業安全推進ウェビナーアンケート回答（設問2及び4関係）

設問4 本ウェビナーに関するご感想・ご意見を自由に記入して下さい。（自由記述）

1	意見交換の時間が短く、慌ただしい印象を受けました。 資料を、ホームページ上でダウンロードできるようにしていただくと、助かります。
2	YouTubeを利用するのであれば、関係者がもっと気軽にいつでも見られる番組があればと思います。また、ウェビナーに関する情報を早くいただきたいことと、作業の安全性確保に関するシンポジウムや意見交換の場をもっと増やして欲しいです。
3	ありがとうございました。
4	ネット環境の改善が必要
5	パワーポイントをWEBにあげておいて、参加者がダウンロードできるようにして欲しい。直前まで内容が変わるのであれば、確定した時点でアナウンスして欲しい。
6	安全は常に意識するべきものであり、絶えずそれを忘れず、注意喚起をするためにも全国ベースのこのような会議を行うことは大いに意義があると思います。ありがとうございました。
7	音声の乱れと音量が小さかったのが残念でした。（音声での傍聴のみでは・・・）
8	画像が悪くて残念でした。
9	画面や音が途切れ、内容が聞きとれない場面がありました。 参加者の通信環境によるものかと思いますが、せっかくの発言なので、対応を検討してほしい。
10	間違っって送信してしまった、チャットの書き込みを訂正できるとありがたいと感じました。消去ボタンでもあればいいのですが。
11	貴重な話があったので、アーカイブでぜひとも公開してください。
12	現在の状況下では大変助かる方式だと思いますが、特に東京が中心となるこのようなイベント等については、地方から聞きに行くのに制約が多く、このような方式にしてもらえれば助かります。
13	現場の人に安全を守らせる方法として、新しい方法を取り入れることも重要と感じた。
14	阪本さんのお話が良く聞けなかったのがとても残念でしたが、手軽に参加できるこういったウェブ形式のセミナーは、有効だと思いました。
15	斬新な話が聞きたかった。当たり障りない話を時間を取って聞くことがいいとは思えない。
16	資料を共有いただきたい
17	時間を守ってほしい
18	大変興味深い内容でした。質疑応答の時間がもっとあると良いと思いました。また、ZOOMに仕様にもよりますが、聴講者が自由にチャット等書き込んで全員が見られるような仕組みがあると、更に効果があると思いました。
19	通信環境の問題で話しが伝わらない場面はあったが要点は把握できた。
20	途中から参加したが気軽に聴講できてよかった。クニエさんの音声聞き取りにくくて残念でした。
21	発言者ごとの音量の違いを改善して頂きたいです

22	本ウェビナーに関するご感想・ご意見を自由に記入して下さい。
23	林業のみを企画してもらいたい。
24	林業事業体の視聴が少ないように思うので、2時間枠であれば午後3時から5時に実施してもらおうと思う。
25	労働災害防止は重要な課題ですが、従来、入手できる情報は県内およびインターネットで公表されているような内容に限られていました。今回のようなウェビナーは、全国的な課題やその対応策、先進的な事例などの情報を、いち早く得ることができ、なおかつ発信をすることが可能なため、素晴らしい取組と思いました。今後、労働災害防止をより一層進めるため、定期的な開催を希望します。

別紙 4

漁業 作業安全推進ウェビナーのアンケート回答（設問2及び4関係）

設問2 今回のウェビナーを視聴して、一番興味を引かれた部分や内容はどこですか。（自由記述）

1	j-marin watcher 2 は安全に広がりが見えそうである。また、パーソナルロケータービーコンを利用すれば携帯電話の範囲から外れた外洋に出ても位置管理も緊急信号も出ていると思った。
2	アシストスーツの活用により作業の安全と向上を図る。
3	水中ドローン
4	水中ドローン
5	日本無線（株）のJM-Watcher II は、普及が進むと良いと思います。
6	発表者や視聴者の意見交換、質疑応答
7	落水通報の重要性

設問4 本ウェビナーに関するご感想・ご意見を自由に記入して下さい。（自由記述）

1	作業安全については、業種を問わず共通する重要事項であることを認識できた。
2	桜マークの腰巻自動膨張のライフジャケットを使っていますが誤作動が非常に多く装着する向きによっては首にかける部分が背面に回り首にかけることができず溺れる可能性があります。小生はヨット（レースが主体）に乗っておりますがこれまでに数回の誤動作（ヨットの船上で被るしぶき）と膨張した次に自分で首にかける必要があることから同乗者（不慣れな人）には、腰巻式は渡しておりません。プレゼンの中では保安庁も推奨とありましたが不安が残ります。プレゼンの中での写真を見ても膨張部分を後ろに回しているところがあったように思います。（小生はSCUBADIVINGのインストラクターもやっております）
3	非常に役に立つ情報だったと思う。 もっと宣伝すべき

設問2 今回のウェビナーを視聴して、一番興味を引かれた部分や内容はどこですか。（自由記述）

1	「食品産業で使用可能な安全保護用品のご紹介」
2	「食品産業と労働安全」、「食品加工機械JISのご紹介」の講演
3	3社の取り組み事例紹介 各事業場の状況に応じた展開があり、夫々の取り組み方が各社なりに工夫されており3社とも良い取り組みと評価いたします。
4	eラーニング。 ハザードマップを各社取り入れていたこと。
5	IOTによる安全性向上
6	エイジフレンドリーの取り組み
7	すぎ屋さんの安全ラベル表示事例
8	すべて
9	リスクアセスメント エイジフレンドリーガイドライン、及び補助金制度
10	安全委員会の活動内容など
11	安全教育に注力する必要性、特に経験の浅い未熟練労働者への適切な対応が重要と感じた。
12	安全対策と衛生対策が競合する場合がある、という点。
13	安全対策事例
14	会社の事例
15	各企業の事例紹介
16	各企業の労働安全の取り組み
17	各企業独自でされている労災対策の内容がとても参考になりました。担当者の顔が見えるというのも良かったと思います。
18	各企業様の取り組み（ヒヤリハット、リスクアセスメントの具体的な進め方）がわかりやすかった。
19	各社の安全衛生活動
20	各社の安全活動組織の編成や軸足の置き方に多少違いはあるものの、トップから現場社員までが全員参画で取り組む風土が醸成、あるいは育ちつつあるのが見て取れた
21	各社の取り組みで安全衛生でないことでも生かすことができると思いました。
22	各社の取り組みの具体例の紹介
23	各社の取り組み事例
24	各社の取り組み等今後の活動の参考になります。
25	株式会社ユニカフェで外部機関に依頼して、危険体感教育を、実施しているという部分に興味を引かれました。危険を従業員さんに体感してもらうことで危険に対する意識を上げてもらいたい。いつもの仕事は、危険だと思いますかとのアンケート調査で、あまり危険ではないという回答が多かったことから、危険な作業をしていると思ってもらうことから、はじめてもらおうと思いました。
26	(株)ユニカフェの取り組み
27	企業の安全の取組事例
28	企業の取り組み
29	危険な職場ではないという思い込みが事故を減らせない原因となっていることが認識できました。 また、こまめにコミュニケーション（勤務者の交代があるなら朝礼だけでなく昼礼や終礼など）をとること必要なことがわかりました。
30	基調講演
31	機械JIS規格 の労働安全と衛生安全。労働安全と食品安全は時に、相反するときがある。 設備、機械面からの安全へのアプローチは必須。

設問3 本マッチングミーティングに関するご感想・ご意見を自由に記入して下さい。(自由記述)

1	ミーティング中にメモを取りながら視聴しましたが、聞き逃しが発生し、説明済みの事項を再確認することも困難でした。ミーティング開始前に資料を開示していただくことを希望します。
1	「ライブ配信」というものを、初めて見ました。その日時にPCの前に座って見ないといけないのですか??? (スマホはないので)。仕事や用事で、そんなことほぼ不可能です。「録画したものを、好きな日時に閲覧できるようにしてほしい」です!!! 日時が過ぎたコンテンツ、見たいものがあつたのに、無理です!!! 動画解説なしでいいので、テキストだけの資料が閲覧したいです!!! どうしたらいいでしょうか?
2	アシストスーツの進化に驚きました。
3	ササキコーポレーションのロボット草刈り機が秀逸だと思いました。
4	テーマに関して、関連ある企業間の話がききたい。例として、アシストスーツ。
5	デジタル目録の説明を拝聴しました。農場の苦痛を3Dデータ処理技術を使って上手に解消している優れたソリューションだと感じました。
6	とても良かったので次回もご案内ください。ありがとうございました。
7	トラブルが多かった。
8	ハードの適合性の事前点検を願います。
9	メーカー担当者からの直接説明が聞けて大変参考になりました。ありがとうございます。
10	安全性を確保した、スマート農業への試みが示された事例紹介は参考になりました。
11	見たいモノと時間がなかなか会いません。後でYouTubeでも見れるようお願いします
12	午前の発表3社、ヤンマーアグリ(株)、(株)クボタ、(株)ササキコーポレーションの皆様たいへんお疲れ様でした。各社それぞれ、時代のニーズ応える製品開発を実現している姿を拝聴することができました。ありがとうございました。(労働安全コンサルタント)
13	今後もオンラインの検討をお願いいたします。
14	昨日24日より本日午前の農業関連のマッチングミーティングを見せていただきました。現在、人手不足、高齢化、後継者不足で廃業を余儀なくされるケースも多々あると思いますが、農業、水産、林業、食品関連で、生産者の皆様に明るい未来、明日への希望に繋がる内容であったと感じます。農水省はじめ、コロナ含め様々な課題を抱える状況下であっても、輸入・他国に依存だけでなく、現在、日本は国家として自給できる底力・能力がある、発展の可能性を有している国であることを子供たち、消費者、国民全体、世界に示して頂ければ幸いです。関係者の皆様のご助力に心から感謝いたします。(労働安全コンサルタント)
15	資料の配布を頂ければありがたく存じます。
16	自動化について各社の状況がわかり大変有効でした。ありがとうございます。
17	質問コーナーにも参加が用意で非常に有益です。
18	質問はチャットを介したような感じですが、演者とダイレクトにやり取りできるのはいいなと思いました。
19	出演者の動画セッティングがうまくいかない場面が数回あった。
20	動画は分かりやすい。自動草刈り機では、 地方企業の取り組みも理解できた。
21	農家をしております、忙しい春作業がありましたが、WEB開催で便利に、かつ臨場感があり、満足できました。また、地方のベンチャーの方のお話、情報も一堂に得られて、貴重な機会になりました。
22	配付資料等が別途準備されているとありがたい。手元に残るものが欲しい。

林業分野 マッチングミーティングアンケート回答

設問3 本マッチングミーティングに関するご感想・ご意見を自由に記入して下さい。(自由記述)

1	イワフジ工業のAI技術が実用化されれば、林業の安全も大きな進展が期待され、架線以外の機械作業にも応用が可能な気がするので、林業の未来も明るく感じる。
2	オンラインでは実機を直接見れない
3	ちょこっと接続に戸惑うシーンが見受けられましたが、今後はこのようなミーティングが多くなると期待しています。 質問についても、素早いレスポンスでびっくりしました。 商品の場合は、後でHP、ユーチューブ等で確認できるので良いのですが、研究中のものや考え方は、やはり、手元に参考となる資料が欲しいです。今後ご検討をお願いします。 素晴らしいミーティングであったと思います。林業界に他分野（通信系、ロボット系なども）の方が参入している現状も理解できました。ありがとうございました。
4	もう少し詳細な内容を知りたかった。
5	安全が一番であるとかんじました。
6	音声が届きにくく、聞きづらかった。
7	開催時からWEBで拝聴し、各企業、団体様が製品開発に結びつけ、農業、林業分野での製品化等マッチミーティングで具体的に知ることができました。本日午後、林業の発表で、緊急事態時の取組みの発表があったのはとても良かったと思います。救急関連で多くの方が大切な命を守る活動に従事しており、いち早く発信・キャッチ、連携して一歩手前に対応できるような活動を、現状でよしとせず、より確かなものとしていくことが期待されているとに思います。そのような純粋な取組みを期待いたします。
8	今後の人口減少等による労働者不足、また、現在のコロナ禍で、オンライン・デジタル化が進んでいく中で、作業の安全性を確保していく上において、AIやICTなどをはじめとし、様々な技術・システムが開発されていることに驚かされます。今後の更なる進化に期待いたします。
9	事前にある程度調べておかないとすぐに質問できなかった。
10	定期的にこのような各事業者の取組を聞くことができる機会があると参考になる。
11	東京大学 松村先生のお話を聞いて 事故等がおきてしまった時などは、即時に異常がわかるので、早期発見が出来、死亡災害の抑制に繋がると思うので、そちらの分野をのばして行ってほしい。
12	**県 専門技術指導員 **です。先ほどは質問が途切れ、失礼しました。 書き込み中に送信してしまい焦りました。 スマートチェーンソーが、早く実用化に繋がり、事故がなくなることを期待しています。 素晴らしいアイデアです！

漁業分野・共通分野 マッチングミーティングアンケート回答

設問3 本マッチングミーティングに関するご感想・ご意見を自由に記入して下さい。(自由記述)

1	このようなマッチングの機会を提供いただき、ありがとうございます。今後も開催を継続願います。
2	このようなマッチングミーティングは非常に良いと思います。一次産業の現場で求められている安全対策にかかる商品開発のニーズを調査集約し、ニーズに沿った安全対策の実現に向けた調査研究・試作への助成等を実施いただければと思います。
3	健康と安全の取り組み方など理解ができた。
4	後半マッチングミーティング、たいへんお疲れさまでした。あつという間の2週間でした。 本日、最後の経産省の発表があったのはとても良かったと思います。今、作業安全ウィークを農水省の枠で終わるのではなく、経産省が入ることにより、情報展活用の面で、皆様がきになっている面を、経産省関東局からのご説明は、関わっている皆様にとっても大きな情報提供だったと思います。私自身、先週から気になったのは、分野にまたがる内容が多く、行政の連携のとれた活動が益々、必要と感じていたところでした。国家の梶をとる経産省関東局が農水省の画面に入ってこれら説明を加えられた点は、本週間を励ます機会となったのではないかと存じます。経産省に勇気づけられました。 最後に、2週間の司会進行はどなたもとてもいい進行だったと思います。特に後半の司会者の方は、ZOOMの発表、操作に慣れないなか、落ちついて、一瞬戸惑う(パニック状態だった)発表者の方々を、「画面を閉じて、クリックしてください」等、安心して発表を継続できる状況に導かれており、その丁寧な、ご指示、また、視聴者に配慮、発表時間を予定通り進める等、皆さん(はらはら見守る私を含め)を、安心させてくださったと思います。質問待ちの小時間にも、司会者の感想を少し入れ、発表者に敬意を含めての進行は、まだまだ、ZOOMに慣れない人への勉強の機会であったと思います。忙しく、2週間は拝聴は無理と思っていましたが、どの内容もすばらしく、全日程参加させて頂きました。とても勉強になり、今回得た情報を、今後活かしていければと存じます。ありがとうございます。(労働安全コンサルタント)
5	今回の企業さんの技術をデータベースにして、必要なところとマッチングできる仕組みづくりが求められていると思いました。
6	使用例の画像や動画が分かりやすかった。また企画して頂きたい。
7	数回のチャット質問に 即答を、賜りまして、有難うございます 拝
8	都合により途中までしか拝見出来ませんでした。貴重な情報が得られ大変勉強になりました。配信だと参加もしやすいのでありがたかったです。安全の為に尽力されている方がこんないらっしゃって、頭が下がります。またこういう機会があれば参加したいです。ありがとうございました。
9	本日、26日最終日午前4事業者様は、漁業関係者の皆様に貴重な情報を惜しみなく提供されていたと思います。自社の製品の売込に注力したいのが本音と思いますが、日本無線(株)、JOHNAN(株)、日本救命器具(株)、(株)AmaterZの発表は各社の開発製品に「命」を守る・安全、安心の提供といった開発者の強い思いがよく伝わってきました。日本救命器具(株)の特に「わが社の製品に限らず、救命胴衣をご着用ください」の一言は、業界のリーダーの思い、流石でした。皆様の発展とご活躍、ご健勝を祈念しております。(労働安全コンサルタント)
10	本日は、大雑把に 何名の オーディエンスが いらっしゃいましたか？ 有難うございました。残りの 50年の人生に 活用致します。千葉県、59歳より拝

本メールは、XXXX 宛にお送りいたしております。
本メールの送信解除をご希望の方は、下記より行うことができます。
(このメールは、農林水産省から委託を受けた(株)トリックスターが配信しています。)

農林水産省 大臣官房 政策課 企画・技術グループ
TEL: 03-6744-0494 (内線 3081)
E-mail: Innovation_group@maff.go.jp

E-mail: Innovation_group@maff.go.jp

・気象庁が発表するアメダスのリアルタイム気象情報（風向、風速、気温、気圧）を提供。
・データは弊社クラウドシステムにて収集・管理し、スマートフォンでのインターネット接続で実施。

・現在、瀬戸内海をモデル海域として実証試験中であり、漁業現場での実用化を検証中。

3. 遠隔監視システム標準搭載漁船用電制エンジン稼働状態を監視し安全安心な操業をサポート（6AYE シリーズ[®]）：ヤンマー船用システム(株)

・コモンレール/高圧燃料噴射システムおよび電子制御システムを搭載した、業務（漁業）用フル電子制御ディーゼル船用エンジン。

・小型漁船（JCI）搭載可能船用主機として、遠隔監視システム（SA-R）*を搭載。

・GPS、通信端末を利用した遠隔監視によってエンジンの稼働状態を管理。

・本機現在置情報の取得 ・エンジンデータの採取 ・エラー情報の取得が可能。

・稼働状態のまとめ 等異常発生時には、無線通信*により、陸上のリモートセンターへエラー情報を展開。

（*通信可能範囲に限る）同情報により、適切かつ早期のトラブル対応が可能。

「農林水産業の作業安全対策に資する新技術カタログ」は、以下からご覧いただけます。

今回ご紹介した技術も写真や図付きでご紹介しています。

https://www.maff.go.jp/j/kanbo/sagyou_anzen.html#catalog

また、作業安全関係以外も含め、農林水産業の現場のニーズに応える新技術を以下の

「つながる農林水産技術サイト」でご紹介しています。こちらもぜひご覧ください。

<http://www.maff.go.jp/j/kanbo/needs/need.html>

~~~~~

本メールは、XXXX 宛にお送りいたしております。

本メールの送信解除をご希望の方は、下記より行うことができます。

（このメールは、農林水産省から委託を受けた（株）トリックスターが配信しています。）

\*\*\*\*\*

農林水産省 大臣官房 政策課 企画・技術グループ

TEL: 03-6744-0494（内線 3081）

E-mail: Innovation\_group@maff.go.jp

\*\*\*\*\*



草刈り作業ができ、

草刈り作業の軽労化・長時間の辛い姿勢による疲労も軽減。

- ・電動ならではの低騒音で排気ガスもゼロなので、静かでクリーンな作業が可能。
- ・簡単操作の無線リモコンで、草刈り作業場所から離れて操作できるため、安全に作業が可能。
- ・超新地旋回（その場旋回）ができ、わずか直径2mの狭い範囲でも右/左どちらまわりでも旋回可能。
- ・家庭用コンセントで充電でき、費用も1回の充電にかかる費用は20円と経済的。

3. モーターにより重量物の持ち上げ・下げ、中腰姿勢の腰の負担を軽減する

パワードウェア：(株)ATOUN

- ・モーターによるアシストで持ち上げ/持ち下げ/中腰姿勢時の腰部負担を軽減。
- ・人の動きに追従し、動作ごとに自動的に的確なアシストを実現。
- ・着脱が容易、軽量（4.5kg）、バッテリー駆動、防塵・防水対応（IP55相当）のため野外・屋内問わず、活動可能。
- ・スリムな通気性確保した形状とファンスーツ併用可。

「農林水産業の作業安全対策に資する新技術カタログ」は、以下からご覧いただけます。

今回ご紹介した技術も写真や図付きでご紹介しています。

[https://www.maff.go.jp/j/kanbo/sagyou\\_anzen.html#catalog](https://www.maff.go.jp/j/kanbo/sagyou_anzen.html#catalog)

また、作業安全関係以外も含め、農林水産業の現場のニーズに応える新技術を以下の「つながる農林水産技術サイト」でご紹介しています。こちらもぜひご覧ください。

<http://www.maff.go.jp/j/kanbo/needs/need.html>

~~~~~

本メールは、XXXX 宛にお送りいたしております。

本メールの送信解除をご希望の方は、下記より行うことができます。

（このメールは、農林水産省から委託を受けた（株）トリックスターが配信しています。）

農林水産省 大臣官房 政策課 企画・技術グループ

TEL: 03-6744-0494（内線 3081）

E-mail: Innovation_group@maff.go.jp

2. SOS・コミュニケーション端末『GeoChat（ジオチャット）』：(株)フォレストシー
・独自の無線規格『GEO-WAVE（ジオウェイブ）』を採用し、920MHz/250mW という
高出力無線の特性を生かし、地形が険しく携帯圏外も多いような中山間地域でも双方向
通信のやりとりが可能な無線端末。

・スマートフォンと BLE で繋がり、携帯圏外に於いても緊急時の SOS 発報や、グループ
間でのチャットコミュニケーションが可能となり、林業従事者の安全確保や業務効率化
を支援する。

・本体に三軸加速度センサーを搭載し、落下・転倒時などに衝撃を検知して自動で SOS
を発報することも可能（開発予定）

・同無線規格を採用した広域無線インフラ構築用親機・中継機『GeoBase(ジオベース)』
と連携し、その無線通信インフラの圏内であれば、携帯圏外からもインターネット経由
での消防・警察等への SOS 発報が可能となる。

・林業従事者の安全を守るための端末として全国から注目を集めており、令和 2 年 2 月
より愛媛県久万高原町での大規模導入がスタートしたことを皮切りに、全国の自治体・
森林組合などへの提供が始まる。

3. 自動走行フォワーダによる無人集材作業システム：(国研)森林総合研究所

・労働生産性の向上を目的として、作業班の構成人数を一人削減しても素材生産量を保
つことが可能な自動走行フォワーダを用いた無人集材作業システムを開発。

・森林作業道の往復走行だけでなく、土場における荷おろし作業もサイドダンプ式荷
台により、自動化されているので、土場に作業員の配置は不要。

・先山における材の積込作業は、造材工程担当の作業員が兼務。

・スイッチバック線形を有する森林作業道においても自動走行機能を使用可能。

・フォワーダの走行速度は、作業員が運転した走行速度を記憶して再現しているため、
急カーブでは減速、直線では高速走行が可能であり、有人運転時と同等の能率を実現。

・現在実証試験中であり、数年後の製品化に向けて取り組み中。

「農林水産業の作業安全対策に資する新技術カタログ」は、以下からご覧いただけま
す。

今回ご紹介した技術も写真や図付きでご紹介しています。

https://www.maff.go.jp/j/kanbo/sagyou_anzen.html#catalog

また、作業安全関係以外も含め、農林水産業の現場のニーズに応える新技術を以下の
「つながる農林水産技術サイト」でご紹介しています。こちらもぜひご覧下さい。

<http://www.maff.go.jp/j/kanbo/needs/need.html>

~~~~~

本メールは、XXXX 宛にお送りいたしております。

本メールの送信解除をご希望の方は、下記より行うことができます。

（このメールは、農林水産省から委託を受けた（株）トリックスターが配信していま

す。)

\*\*\*\*\*

農林水産省 大臣官房 政策課 企画・技術グループ

TEL: 03-6744-0494 (内線 3081)

E-mail: [Innovation\\_group@maff.go.jp](mailto:Innovation_group@maff.go.jp)

\*\*\*\*\*

第 9 回送信 2021 年 02 月 04 日 配信 2,255 通

XXXX 様

お世話になっております。農林水産省大臣官房政策課です。

このメールは、当課企画・技術グループ（旧イノベーション創出グループ）と  
名刺交換や意見交換等を行った方々へお送りしています。

作業安全対策メルマガの第 9 回を配信します。

～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～

【農林水産業・食品産業 作業安全推進 Week を開催します（2/16～26）】

見直そう安全対策！！

2 月 16 日から 26 日を「農林水産業・食品産業 作業安全推進 Week」とし、期間中にオ  
ンライン配信のイベントを開催します。

全国どこからでもどのイベントにも無料で参加が可能です。

<開催概要>

○農林水産業・食品産業の作業安全推進シンポジウム（2/16）

作業安全をめぐる情勢を紹介するほか、農協、森林組合、漁協等での取組事例をご紹  
介。

○作業安全推進のための会議・ウェビナー

農業(2/17)、林業・木材産業(2/18)、漁業(2/18)、食品産業(2/19)。

各分野の現場の事業者、関係団体、研究機関、行政から情報発信を行います。

○作業安全新技術等マッチングミーティング（2/24、25、26）

作業安全に役立つ技術を、開発・販売する企業が直接ご紹介。Q&A のやりとりが可能です。

農林水産業・食品産業の現場では、毎年、多くの死傷事故が発生しています。

家族や仲間のため、自分のために、毎日を事故なく安全に終わられるよう、安全対策を  
見直してみませんか。

参加申込み・プログラムの詳細は特設サイトから。

農林水産業・食品産業 作業安全推進 Week 特設サイト

<https://anzen-week.com/>

～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～

本メールは、XXXXX 宛にお送りいたしております。

本メールの送信解除をご希望の方は、下記より行うことができます。

（このメールは、農林水産省から委託を受けた（株）トリックスターが配信していま  
す。）

\*\*\*\*\*

農林水産省 大臣官房 政策課 企画・技術グループ

TEL: 03-6744-0494（内線 3081）

E-mail: [Innovation\\_group@maff.go.jp](mailto:Innovation_group@maff.go.jp)

\*\*\*\*\*





\*\*\*\*\*

農林水産省 大臣官房 政策課 企画・技術グループ

TEL: 03-6744-0494 (内線 3081)

E-mail: [Innovation\\_group@maff.go.jp](mailto:Innovation_group@maff.go.jp)

\*\*\*\*\*



2月26日（金）

10:00 漁業関連 沿岸域向け安全操業支援システム[日本無線株式会社]

10:30 漁業関連 産業用水中ドローン[JOHNAN 株式会社]

11:00 漁業関連 救命合羽の開発[日本救命器具株式会社]

11:30 漁業関連 作業を見守るデータ取得サービス tukumo つくも[株式会社 AmaterZ]

休憩

13:00 共通分野 OIMS を活用したオープンイノベーションの推進[経済産業省関東経済産業局]

農林水産業・食品産業の現場では、毎年、多くの死傷事故が発生しています。

家族や仲間のため、自分のために、毎日を事故なく安全に終わられるよう、安全対策を見直してみませんか。

参加申込み・プログラムの詳細は特設サイトから。

農林水産業・食品産業 作業安全推進 Week 特設サイト

<https://anzen-week.com/>

~~~~~

本メールは、XXXX 宛にお送りいたしております。

本メールの送信解除をご希望の方は、下記より行うことができます。

（このメールは、農林水産省から委託を受けた（株）トリックスターが配信しています。）

農林水産省 大臣官房 政策課 企画・技術グループ

TEL: 03-6744-0494（内線 3081）

E-mail: Innovation_group@maff.go.jp

14:30 林業関連 伐倒方向補助装置ガイドレーザー[株式会社藤興行業]

休憩

15:30 林業関連 騒音環境下作業者の緊急伝達装置[プラムシステム有限会社]

2月26日(金)

10:00 漁業関連 沿岸域向け安全操業支援システム[日本無線株式会社]

10:30 漁業関連 産業用水中ドローン[JOHNAN 株式会社]

11:00 漁業関連 救命合羽の開発[日本救命器具株式会社]

11:30 漁業関連 作業を見守るデータ取得サービス tukumo つくも[株式会社 AmaterZ]

休憩

13:00 共通分野 OIMS を活用したオープンイノベーションの推進[経済産業省関東経済産業局]

農林水産業・食品産業の現場では、毎年、多くの死傷事故が発生しています。

家族や仲間のため、自分のために、毎日を事故なく安全に終わられるよう、安全対策を見直してみませんか。

このメールは、農林水産省から委託を受けた(株)トリックスターが配信しています。

※ ご質問は、下記のメールアドレスへご連絡ください。

株式会社トリックスター

農林水産業・食品産業 作業安全推進 Week 担当者 坂元

E-mail: info@anzen-week.com
